

令和2年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）
分担研究報告書

慢性疼痛診療システムの均てん化と
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 二階堂 琢也 福島県立医科大学整形外科学講座 准教授

研究要旨

慢性疼痛診療ガイドラインを作成し、慢性疼痛治療に関わる多くの医療者に最新のエビデンスを提供する。また、慢性疼痛診療ガイドライン作成にとどまらず、その効果や影響を検討することにより、次期の改訂にも貢献できると考えられる。

A. 研究目的

慢性疼痛診療ガイドラインの作成を行う。前回の慢性疼痛治療ガイドラインの内容に最新のエビデンスを加えることにより、慢性疼痛治療に関わる医療者により有用な情報を提供する。

B. 研究方法

厚生労働省の診療ガイドライン作成の標準形式である医療評価機構 EBM 普及推進事業 (Minds) によるガイドライン作成方法に準拠し、慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーとその協力者でクリニカルクエスションとそれに対する推奨度、エビデンスレベル案を作成。

ワーキンググループメンバーによる全体会で内容の検討と推奨度に対する投票を行い、最終的な推奨度を決定する。

医師以外の医療者や統合医療に携わる医療者、そして慢性疼痛患者代表の意見を取り入れ、患者に配慮する表現で記載をすることとした。

C. 研究結果

慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーによる全体会で決定した各クリニカルクエスションに対して益と害に関する、すべての重大なアウトカムを設定した。文献検索を行い、条件を満たした論文のシステムティックレビューを行い、エビデンス総体の評価と統合を行った。益と害のバランスからエビデンスの確実性を検討し、患者の価値観や希望、および費用対効果を加味して推奨案を決定した。慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーによる計 16

回にわたる全体会で推奨案について検討し、

最終決定した。

D. 考察

「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017」に則り、ガイドラインの標準的な作成方法に基づいて慢性疼痛診療ガイドラインを作成した。クリニカルクエスションの内容やアウトカムの設定、推奨などガイドラインの重要な決定事項に関して、オンラインでの全体会を開催し、十分に議論を行うことができた。

E. 結論

「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017」に準拠した慢性疼痛診療ガイドラインを作成した。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 二階堂琢也, 紺野慎一: 腰部脊柱管狭窄症の国際分類(脊椎脊髄 33 巻 4 号: 342-346, 2020)
- 2) 二階堂琢也, 矢吹省司: 脊椎外科医から理学療法士に期待すること(理学療法ジャーナル 54 巻 7 号:746-752, 2020)
- 3) 二階堂琢也, 日本整形外科学会脊椎脊髄病委員会: 脊椎内視鏡下手術の現状 2019 年 1 月~12 月手術施行状況調

査・インシデント報告集計結果（日整
会誌 95 巻 1 号： 53-60, 2021）

2020. 10. 9-10, WEB)

- 4) Yabuki S, Takatsuki K, Otani K,
Nikaido T, Watanabe K, Kato K,
Kobayashi H, Handa JI, Konno S:
Headache in Patients with Cervical
Spondylotic Myelopathy (Pain Res
Manage, 2020)
- 5) Kato K, Sumitani M, Sekiguchi M,
Nikaido T, Yabuki S, Konno SI:
Development of a severity
discrimination scale based on
physical quality of life for
patients with chronic pain (J
Orthop Sci, 2020)
- 6) Watanabe K, Otani K, Tominaga R,
Kokubun Y, Sekiguchi M, Fukuma S,
Kamitani T, Nikaido T, Kato K,
Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi SI,
Konno SI: Sagittal imbalance and
symptoms of depression in adults:
Locomotive Syndrome and Health
Outcomes in the Aizu Cohort Study
(LOHAS) (Eur Spine J, 2020)

2. 学会発表

- 1) 脊椎疾患における神経障害性疼痛の診
断と特徴(第 69 回東日本整形災害外科
学会, 2020. 9. 18-19, WEB)
- 2) 運動器難治性疼痛に対する多職種連携
の現状と課題(第 69 回東日本整形災害
外科学会, 2020. 9. 18-19, WEB)
- 3) 日本人慢性腰痛症患者におけるタネズ
マブ(NGF 抗体)の有効性 56 週投与,
セレコキシブ対照試験 (第 35 回日本
整形外科学会基礎学術集会,
2020. 10. 15-16, WEB)
- 4) 日本人慢性腰痛症患者におけるタネズ
マブ(NGF 抗体)の安全性および忍容性
56 週投与, セレコキシブ対照試験 (第
35 回日本整形外科学会基礎学術集会,
2020. 10. 15-16, WEB)
- 5) 腰痛診療ガイドライン 2019 に基づく
最新の薬物療法 (第 135 回中部日本整
形外科災害外科学会・学術集会,

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし